

認知症地域医療連携協議会 開催



飯塚地区消防本部 警防課 救急係長 松岡修司様
からの話題提供～限られた救急車の状況で、ご家族からの通
報で、救急隊が現場に赴き、認知症の患者の対応に、4時間～
7時間近く説得したが、ダメであった事例などを報告～



院長 豊永武一郎のコメント
～精神科への受診の道筋がつけば、外来や入院の
対応を積極的に果たしていきたいです。～

平成28年2月19日（金）18：30～20：50

まで、当院・6階グランドホールにて、平成27年度 第2回認知症地域医療連携協議会を開催致しました。

本会議は、認知症医療センターの役割の一つである、地域連携の推進を図る為に、開催させて頂いたものです。今後、本会議を通じて、認知症の方々が安心して地域で生活できるように、関係機関の皆様方と顔の見える関係を構築し、それぞれの機関が担う役割を認識していくことを目指しています。

当日は嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所職員、飯塚市、嘉麻市、桂川町の担当職員の方々、社会福祉協議会、飯塚消防本部、ケアマネジャー、グループホーム管理者の方々、福岡県弁護士会所属の弁護士、菟田まちづくり推進協議会の方々など17機関30名の方々が出席しました。

議題としましては、下記のとおりでした。

- 1) 今年度会議初参加者の方々の自己紹介
- 2) 専門相談員・江頭関巳の自己紹介並びに福岡県認知症医療センターの平成26年実績、平成27年度事業進捗状況、平成28年度事業計画（案）報告
- 3) 話題提供：「救急隊の認知症患者対応の現状と問題点について

—救急隊としての役割—

話題提供者 飯塚地区消防本部 警防課 救急係長 松岡修司様

- 4) グループワーク：「家族が救急搬送を希望するが、認知症患者本人（疑いも含む）が乗車拒否した場合、あなたならどうしますか？」
- 5) 院長からのコメント、全体でのシェアリング

会議後のアンケート結果では、全体的には、9割以上の方々が大変満足、満足との回答を得ましたが、「グループ別に部屋を分けて頂いて話し合いがしやすかった」、「スピーカーの音量を上げてほしい」といったなど多くのご意見、ご要望を頂きました。

皆様方からの意見を参考に、次回会議を更によりよいものになれるようにしていきたいと思っております。今後とも会議へのご参加とご協力を宜しくお願い致します。

当日司会の平岡OT長、受付スタッフ
です。～ありがとうございました～



グループワーク
の様子です。
～皆さん、真剣に
意見交換して
います～

次回会議は、平成28年9月、平成29年2月の金曜日 午後6時30分から午後8時までの予定です。